

建物概要	主体構造	鉄筋コンクリート造 3F (W/F/F) 高さ		m	軒高	9.35 m
	架構計画	WRC 3F (B/F) ラーメン構造 3F (ラ)		外装	コンクリート打放し	
使用材料	基礎	独立基礎 及び 布干し		くい	節抗 300~450φ 0.64 Ra = 25%	
	鉄筋	SD30	JIS規格品 規格外	鋼材	フェスナー	
地盤	コンクリート	$f_c = 210 \text{ kg/cm}^2$		溶接部許容応力度の 作業方法による低減	1.0	0.9
	地域係数 Z	1.0	標準せん断力係数 C_0	一次設計	0.2	二次設計 1.0
威力	建築物1次固有周期 T	0.253 秒 0.246	告示式による・精算式()による			
	地盤種別	第2種地盤	T_c	0.6	振動特性係数 R_t	1.0
	地震層せん断力分布係数 A_i の算出方法	告示式による・精算式()による				
壁等の評価	耐力壁	略算	基準柱に対する比 (単位面積あたり) $n =$ (1階) (最上階)			
	の評價	精算	ラーメン併用 WRC造	ブレース置換 = 30L WRC 筋針 = 30L		
の扱い	雑壁の評価 (等価断面積注)	(壁、壁たれ壁を含む) そで壁				
	鉄骨ブレースの水平力分担率 β			応力割増率		
一次設計	応力	WRC 手計算・ラーメン構造 コンピュータ (805-2)				
	計算法	鉛直時	ラーメン変位法・水平時	ラーメン節電位法		
	水平力によるせん断力割増率 ($n = \frac{Q_s - Q_c}{Q_c}$)			ねじれ補正	(有) 無	
二次設計	構造特性係数 D_s	ラーメン部 (X)	形状係数 F_{es}	ラーメン部	3F 1.11 1F 1.03 2F 1.0	
	終局強度計算法	略算 (建設省指針) ・精算 ()				
	保有水平耐力計算法	略算 (節点ふりわけ法 (モーメント分割: 弾性心にかた.) 仮想仕事法 (外力分布:)) ・精算 ()				
構造計算に対する所見	軸力の変化の考慮	柱付軸力考慮				
	本建物は、主体構造が、鉄筋コンクリート壁式構造で、一般的のラーメン構造より剛強な建物である。壁や梁部材の断面も、1.25倍以上の安全率を見込んであり、十分な耐震性がある。					

一級建築士 173794号

谷

淳



注) ・(左)フローチャートはX、Y方向の区別をして採用したフローを明示すること。

・(右)該当する項目がない場合は とすること。

枠の中に選択枝がある場合は一方を○で囲み、()の中に必要事項を記入すること。